

第4回 獅子吼ゴールデンカップ2011

主 管	第4回獅子吼ゴールデンカップ2011実行委員会
公 認	(社)日本ハング・パラグライディング連盟
協 力	スカイ獅子吼パラグライダースクール 獅子吼高原スカイレジャーエリア運営協議会
後 援	北陸中日新聞
大会長	白山市鶴来支所長 中出 剛
大会実行委員長	初瀬宗子(スカイ獅子吼パラグライダースクール校長)
大会競技委員長	金子外幸(スカイ獅子吼パラグライダースクール)
競技内容	獲得高度とランディング技術点
募集人員	40人
大会日程	2011年10月8日(土)～10月9日(日)
開催地	石川県白山市 獅子吼高原
参加資格	JHF ハンググライダーパイロット技能証 JHF ハンググライダーBC級技能証練習生 参加可能 *BC級技能証練習生は教員同伴の事 JHF フライヤー登録有効の事
必要装備	高度計,無線機
表 彰	賞状・賞金・賞品多数
参加費用	8,000円 (ゴンドラ・親睦パーティ代含む)
その他	レスキューパラシュート (6ヶ月以内にリパック済みの物をご使用ください)
申込み方法	締切り日までに申込み書を大会事務局へ郵送又はFAXしてください。 参加費用は受付当日に徴収します。
締切り	2011年9月26日(月曜)
大会事務局	〒920-2113 石川県白山市八幡町109 スカイ獅子吼パラグライダースクール内 TEL/FAX 076-273-2320 HP http://www.skyshishiku.jp E-mail info@skyshishiku.jp

スケジュール 集合場所 スカイ獅子吼パラグライダースクール

10月8日(土)	08:00~08:30	選手受付
	08:30~	選手移動(各自自動車にてTOへ)
	09:30~	開会式・ブリーフィング
	10:30~	競技開始
	17:00~	親睦会(フライトエリア周辺)
10月9日(日)	08:00~09:00	選手受付
	09:00~	選手移動(各自自動車にてTOへ)
	10:00~	ブリーフィング・競技開始
	16:00~	閉会式・表彰式(パーク獅子吼)

*状況により予定時刻を変更する場合があります

選手へのお知らせ

【宿泊施設】

- ・八幡地区の民宿施設（各自手配願います）

民宿 かのや 076-272-0645

民宿 さかい 076-272-1340

民宿 獅子吼荘 076-272-1741

- ・獅子吼クラブハウス（風呂なし、寝袋持参 一泊500円）

第4回 獅子吼ゴールデンカップ2011

大会規定

1 参加資格

心身ともに健康で、JHF フライヤー会員登録者で JHF パイロット証又は JHF ハンググライダー練習生技能証(B 級又は C 級)を有する事。但し、練習生は教員又は教員から委託されたパイロットによるランディング誘導必須。外国人は JHF パイロット証と同等の技能を有し、JHF が認めるフライヤー登録と同等以上の日本国内で有効な第三者賠償責任保険に加入していること。

2 参加機体

- (1) FAI クラス 1 (フレキシブル) およびクラス 5 (リジッド) に限る。
- (2) 使用機体は、原産国あるいは JHSC によって認められている国の耐空証明が明示されたものとし、競技役員の機体検査に合格したものであること。
- (3) 使用機体が破損した場合の変更は競技委員長に許可を得て他機種、他サイズのものに変更することができる。

3 エントリ No. (ゼッケン)

- (1) 機体にはエントリ No.(ゼッケン)を指定場所に貼り付けること。

4 装備

- (1) 獲得高度確認のために高度計を使用する。
- (2) 安全なヘルメット、ロック付きのカラビナ、6 ヶ月以内にリパックされた緊急用パラシュート、セカンダリースイングライン、レスキューセットは必ず装備すること。
- (3) バラストの装備は認めるが、水以外は空中投棄してはならない。
- (4) 使用器材の安全性は、選手個人により確保されていること。

5 高度計

- (1) 獲得高度確認のため、高度計を使用する。
- (2) 高度計はフライト中の最大高度が記録できるものを使用する。
- (3) 離陸直前に高度計の高度補正を実施する。

6 大会失格

以下に該当する選手は大会失格とする。

- (1) 故意に不正な競技報告を行った者、及び事故やアウトサイドを報告しない者。
- (2) 大会役員から 2 回警告を受けた者。
- (3) 送電線をくぐった者、接触した者。
- (4) ゴルフ場に降りた者。

7 警告・フライト失格

以下に該当する選手には警告を与え、役員判断によりフライト失格とすることがある。

- (1) 大会役員の指示に従わない者。
- (2) 雲中飛行、空中接触など危険な飛行を行ったと判断される場合や、故意にテイクオフを失敗した者。(テイクオフ役員判断による)
- (3) 送電線・高圧鉄塔・変電施設の周囲及び上空 150m 以内に近づいた者。

8 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後1時間以内（最終日は30分以内）に供託金10,000円を添えて、文書にて競技委員長に異議申し立てをすることができる。抗議が受け入れられれば、供託金は返済される。

9 その他

- (1) 大会中は役員への指示にしたがうこと。
- (2) 万一、事故や傷害、損害が生じた場合には、主催者の指示に従い、本人の責任において速やかに処置を行うこと。

－以上－

第4回 獅子吼ゴールデンカップ2011

競技規定

1. 競技種目

(ア) 獲得高度種目

① 内容

競技フライト中の高度変化を各選手が携帯する高度計で計測し、フライト中の最高獲得高度に得点係数を掛け合せた値を獲得高度得点とする。

② 最高獲得高度の求め方

競技フライト中に各選手が携帯する高度計で測定した最高海拔高度からテイクオフ地点の海拔高度を差し引いた値を最高獲得高度(m)とする。最高獲得高度はメートル単位としマイナス値はゼロとする。

③ 獲得高度得点係数

得点係数については競技開始のブリーフィングの際に競技役員より提示する。

(イ) ランディング技術種目

① 内容

ランディングアプローチ～ランディングまでの操作の正確さについてランディング技術点を求め、得点係数を掛け合せた値をランディング技術得点とする。

② ランディング技術点の求め方

1. 場周ランディングアプローチ項目

(ア) 高度処理ポイント操作 5ポイント

① 高度処理位置

② 偏流補正操作

③ 旋回方向

④ 他機警戒

⑤ 離脱高度

(イ) ダウンウィンドレグ 2ポイント

① 飛行経路

- ② チェックポイント
 - (ウ) ベースレグ 2 ポイント
 - ① 飛行経路
 - ② チェックポイント
 - (エ) ファイナルレグ・ランディング 5 ポイント
 - ① 飛行経路
 - ② 体の引き起こし
 - ③ 安定性
 - ④ セーフティランディング
 - ⑤ ランディングポイント

③ ランディング得点係数

得点係数については競技開始前のブリーフィングの際に競技役員より提示する。

2. 高度計

高度計は各選手が準備する。

3. 大会無線

競技フライト中は大会主催者が準備する無線機を携帯し、大会主催者側からの無線通報を常時受信可能な状態であること。

4. 競技時間

選手は GOT から GCT の間に競技を行う。なお、GOT 以前及び GCT 以降の競技フライトはできない。

5. テイクオフ方法

フリーテイクオフとする。

6. リフライト

(ア) リフライトは何度してもよい。但し、その日の最終フライトが得点対象となる。

(イ) リフライトの為に入山する選手は、予め大会本部にその旨を報告すること。

(ウ) リフライトする場合は、テイクオフ役員にその旨を報告すること。

7. 競技終了報告

(ア) その日の競技参加受付を行った選手は、タスクフィニッシュタイムまでに自分が安全に着陸、あるいはフライトキャンセルしたことを大会本部に連絡すること。

8. 回収

(ア) 回収は、基本的に自己回収とする。

獅子吼ゴールデンカップ参加申込書

フリガナ

氏名 _____ 男・女 _____ 血液型 _____ RH +・-

19 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 ____ 才

E-mail _____

住所〒 _____

自宅TEL _____ 自宅FAX _____

携帯TEL _____

緊急連絡先名 _____

緊急連絡先住所〒 _____

緊急連絡先TEL _____ 緊急連絡先FAX _____

JHF 会員番号 _____ 有効期限 ____ 年 ____ 月

技能証番号 B・C・P・XC- _____ 経験年数年、飛行時間 ____ 年 ____ h

所属クラブもしくは卒業スクール _____

参加機体メーカー名 _____ 機体名 _____

機体サイズ _____ 機体カラー _____

20歳未満の参加者は、保護者の承認が必要です。

保護者名 _____ 印 _____ 続柄 _____

連絡先 TEL _____